

陳情第125号

令和7年10月 8日

川崎市議会議長 原 典 之 様

中原区

川崎民主市政をつくる会

代表委員

ほか 1,022名

物価高騰・猛暑から市民を守るために公共料金などの補助を求め
る陳情

陳 情 の 要 旨

昨今の物価高騰は市民生活を直撃し、賃金、年金などそれに見合った上昇がないために、「生活費が足りない」という悲鳴が上がっています。さらに今年の夏は、過去最高の気温を次々と更新し、35℃以上の「猛暑日」が過去最高の日数を数えるなどの暑さが市民を襲い、エアコンを購入できない世帯や、あっても故障して直すことができない世帯は命の危険にさらされています。

市民がこの猛暑の中、熱中症対策としてエアコンを使えるように、エアコンの購入や電気代の支援をすることは、市民の命を守る施策です。東京都や名古屋市などはエアコン購入に支援を行っています。また、水道料金や下水道使用料を補助する自治体も広がっており、市民の命と暮らしを守る自治体の役割を発揮されています。本市もそのような支援を行うよう、以下の内容で陳情いたします。

陳 情 項 目

- 1 熱中症から生命を守るため、必要な世帯にエアコンの設置及び修理費用の助成を行うこと。
- 2 エアコンを我慢せずに使えるようにするため、必要な世帯に電気代への支

援を早急に行うこと。

3 水道料金、下水道利用料を必要な世帯に減免すること。

4 非課税世帯を始め生活困窮世帯に生活支援給付金を市独自で緊急に実施すること。